

## 第6学年 家庭科・総合的な学習の時間 学習指導案

福岡市立玄洋小学校

教諭 山本 志麻

1. 単元名 家庭科「あなたは家庭や地域の宝物2～私から地域につなげよう！ひろげよう！」  
総合的な学習「中学校へはばたくために」

### 2. 単元の目標

- 自分たちが日々の学校生活を安全に、豊かに送るためにたくさんのボランティアの方々の支援があることを理解し、具体的な活動内容などを知ることができる。  
(知識及び技能)
- ボランティアの方々に対して感謝の気持ちを効果的に伝える方法を考え、実際に伝えることができる。ボランティアの方々と協働する方法を考え活動に移すことができる。  
(思考力・判断力・表現力等)
- ボランティアの方々に感謝の気持ちを伝える方法を意欲的に考えたり、卒業までの期間その活動のよさに目を向けて観察し声をかけたり、自分たちもその活動を将来継いでいこうとする意欲を持ったりすることができる。  
(主体的に学習に取り組む態度)

### 3. 単元について

#### (1) 教材観

本単元では学校にかかわる5つのボランティアグループの活動について取り上げ、その活動の実際やその思いについて探求していく中で、自分たちが地域の人たちから大切に思われてたくさんお世話になっていることを知ることができる。さらに疑問に思ったことを直接ボランティアの方々に質問したり、活動の様子を細かく観察したりするという方法でもボランティアの実際に迫ることができる。

また、その方々に感謝の気持ちを伝える方法について、ただメッセージカードに書いて渡すだけでなく、実際に自分たちも活動に参加したり、活動中の方たちに自分たちから声をかけてコミュニケーションをとっていったりという多様な表現や活動につなげることができる。

自分たちの成長や、よりよい人になるように願われていることに気づくこともでき、自尊感情も高められると考える。今現在の学習の中だけでなく、将来の自分が社会の中で他者と協働したり、社会に向けて奉仕したりするという持続性も期待することができる。

#### (2) 児童観

本学級の児童は、ボランティアグループの存在を知っており、どんな活動をしているかということについては大まかに知っているが、詳しく追及したことはなく、活動の内容やその準備にかかる手間暇についての具体的な理解は十分とは言えない。一方一年生の世話をしたり、学校のために働いたりすることを通して表には表れにくいたくさんの活動が必要であることは、この1年間を通してよく知ることができた。自分たちの活動への思いとつなげて考えさせることで、ボランティアの方々の思いや手間暇をより強く感じさせることができ、意欲的に学習に向かうことができると考え

られる。

### (3) 指導観

本単元での指導にあたっては、まず、自分たちが近々行おうとしている立つ鳥運動について見直し、今までボランティア活動だと思って見ていたものが本当にそう言えるのか考えさせ、ボランティア活動とはどのようなものか共通認識を持たせる。

その後学校にかかわる5つのボランティアグループの活動について、今知っていることについて出し合うことから始める。情報が不足している部分や、もっと知りたいことについては、観察したり、おうちの人などに取材したりしてわかったことを、情報交換ボードを用いて共有していく。

次に、疑問に思ったことやもっと知りたいことが出てくると考えられるので、直接ボランティアの方々の話を聞いたり質問したりする機会を設けたり、活動の様子を自分たちで洗いだした視点に基づいて観察したりという方法でもより具体的な活動の実際に迫りたい。

そして、その方々に感謝の気持ちを伝える段階では、ただ感謝のメッセージとしてまとめるだけでなく、実際に自分たちも活動に参加したり、活動中の方たちに自分たちから声をかけてコミュニケーションをとっていったりという多様な表現や活動につなげていく。

将来的な展望としては、今現在の学習の中だけで終わらせるのではなく、社会の中で他者と協働したり、社会に向けて奉仕したりするという持続性につなげていきたい。

### (4) ESD との関連

#### ・本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）

連携性 … 一人ではできないことも、同じ志を持った人同士で協力すればできることの幅が広がり、持続も可能になっていくという考え方。

公平性 … 今さえ、自分さえよければいいという考え方ではなく、長続きする、たくさんの人に広がるよさを求めるという考え方。

責任感 … 「よい社会」にするためには、人任せにしないで自分から行動するという考え方。

#### ・本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

##### 他者と協力する態度

「自分がやってもどうせ…」と思わずに、多くの人を巻き込みながら行動することができる。

##### 進んで参加する態度

自分がよいと思ったことは積極的に行動に移すことができる。

##### コミュニケーション力

他者に関心をもって声をかけたり、意見を聞いたり発信したりできる。

##### 共同的問題解決力

取材を分担したり、お互いに情報をやり取りしたりして、自分の知識を増やし、考えを深め広げられる。

・本学習で変容を促す ESD の価値観

世代間の公正

受け継がれてきた思いは次の世代へきちんと引き継いでいく責任が私たちにはある。

・達成が期待される SDG s

4 質の高い教育をみんなに

11 住み続けられるまちづくりを

4. 単元の評価規準

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考力・判断力・表現力等	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
<p>① 自分たちが日々の学校生活を安全に、豊かに送るためにたくさんのボランティアの方々の支援があることを理解している。</p> <p>② 情報交換ボードやおうちの方への聞き取りなどを通して、ボランティアグループの具体的な活動内容などを知ることができている。</p>	<p>① ボランティアの方々に対して感謝の気持ちを効果的に伝えるメッセージの表し方を考え、伝えている。</p> <p>② ボランティアの方々と協働する方法を考え活動に移している。</p>	<p>① ボランティアの方々に感謝の気持ちを伝える方法を意欲的に考えようとしている。</p> <p>② ボランティアグループの活動のよさに目を向けて観察したり声をかけたりしようとしている。</p> <p>③ 自分たちもその活動を将来継いでいこうとする意欲を持つことができている。</p>

5 単元の指導計画 (家庭5時間 総合7時間 計12時間)

学習活動	○学習への支援	○評価・備考
<p>1 自分たちがボランティア活動だと思っている活動について見直してみる。 (立つ鳥運動)</p>	<p>○自らの意志ではなく、やることになっているからで行ってきた活動について注目させ、ボランティアのあるべき姿について考えようとするきっかけを作る。</p>	
<p>2 学校にかかわる5つのボランティアグループの活動について、今知っていることについて出し合う。1 ・PTA 役員 ・花のぷちぼら ・交通みまもり ・おやじの会 ・読み聞かせの Book Book</p>	<p>○児童が気付いていない活動があれば提示する。知っているつもりになっているようだったら、さらに具体的な活動の仕方について教師が投げかけ、もっと深く知りたいという意欲を高める。</p>	<p>家庭 A (3) イ (主体的)</p>
<p>3 情報が不足している部分や、もっと知りたいことについて、観察した</p>	<p>○情報交換ボードを5つのボランティアグループや視点に分けて提示する</p>	<p>家庭 A (3) イ (思・判・表)</p>

<p>り、おうちの人などに取材したりしてわかったことを、情報交換ボードを用いて共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい祭りの準備は3か月前から50人くらいで取り掛かる。</li> </ul>	<p>ことで、知らせたいことや知りたいことを整理できるようにする。</p>	
<p>4 活動の様子を、自分達で洗いだした視点に基づいて観察し、より具体的な活動の実際を情報交換ボードに追加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Book Book の会員は15人いて、小学生の子がいない人もいる。</li> </ul> <p>5 直接ボランティアの方々のお話を聞いたり、疑問に思ったことやもっと知りたいことを質問したりする。</p>	<p>○話を聞く際には具体的な活動の実際に迫ったり、各グループに通じる共通点などを気づいたりしやすいように整理できるカードを用意する。</p>	<p>家庭 A (3) イ (思・判・表)</p> <p>家庭 A (3) イ (主体的)</p>
<p>6 5つのグループの方々に分担して感謝の気持ちを伝える方法を考える。</p> <p>7 実際に自分たちも活動に参加したり、活動中の方たちに自分達から声をかけたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BookBook の読み聞かせに自分も参加して1年生に読み聞かせよう。</li> </ul>	<p>○ただ感謝のメッセージカードとしてまとめるだけでなく、実際に自分たちも活動に参加したり、活動中の方たちに自分たちから声をかけてコミュニケーションをとっていったりという多様な表現や活動につなげていく。</p>	<p>総ア (知・技)</p> <p>総ウ (主体的)</p>
<p>8 活動の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの方に支えられ大切にされていることに気づいた</li> <li>・自分も大きくなったらボランティア活動したい。</li> <li>・小学生の自分でもできることがあったらやってみたらやってみたい</li> </ul>	<p>○将来の自分が社会の中で他者と協働したり、社会に向けて奉仕したりする。</p>	<p>総イ (思・判・表)</p>